

令和2年度 学校関係者評価委員 意見・提言

お名前 【1. 「真・善・美」の全人教育の実施】について

A委員

B委員

C委員

お名前 【2. 教育目標の達成】について

A委員 このご時世ですので、今後は感染予防対策の意識を高めること等につきましても教育目標に組み込んだほうが良いかと思いました。

B委員 医療・福祉に加えて、保健も追加してはいかがでしょうか。ご存じの通り、昨今、産業保健領域や学校保健領域にリハビリテーション専門職が関わる機会が増え、今後ますます職域の拡大が期待される領域であることから、教育目標に追加してもよろしいかと思われます。

C委員 新型コロナウイルス対策を迅速に行い、継続した教育環境を作る努力があった。

お名前 【3. 国家試験合格率100%を目指す】について

A委員

B委員

C委員

お名前 【4. 就職率100%】について

A委員

B委員

C委員

お名前 【5. 学院運営の安定】について

A委員

B委員 他養成校との差別化を図るような取り組みや広報活動はどのように行われていますか？

C委員 定数を確保するためのより具体的な取り組みを今後計画していくことが必要

お名前 【6. 学生支援の充実】について

A委員 迅速なoffice365の導入により、効果的な学生支援ができていると思います。

B委員 学生支援として、学院側のサポートは担保されていると思いますが、臨床実習施設への周知はどのように行われていますか？

C委員 夜間の学生が継続して学習できる環境についても更なる支援を検討が必要ではないか。

お名前 基準1 教育理念・目的・人材育成像 (P4~P7)

1-1-4

A委員 PT・OT・STおよび介護福祉士の社会的ニーズは高いと感じます。特に介護福祉士につきましては、人材不足であり社会的ニーズに応えるための将来構想の明確化は喫緊の課題であると考えます。

B委員 日本理学療法士協会における2018年度定時総会において4年生大学化推進が賛成多数で可決されたが、貴校における今後の方向性はどのように検討されていますか？

C委員 PTOTSTについてはより地域での活動も重要になってきているのでカリキュラムにおいてもその分野についての内容や介護保険領域の内容も含めてほしい。

お名前 基準2 学院運営 (P8~P15)

A委員

B委員 働き方改革の重要課題として、“長時間労働の解消”があります。学院の教職員の方々は非常に多忙である印象がありますが、現状の労働環境や取り組みなどがあれば、ご教示下さい。

C委員

お名前 基準3 教育活動 (P16~P24)

A委員

B委員 3-9-1の課題として、「教育目的・目標に沿った教育課程の編成、適切な教育内容、授業形態の選択などを評価できておらず、各々の専任教員に任されている」とありますが、学院内での委員会設置以外にも、例えばリハビリテーション教育評価機構などの第三者評価を受審し、評価の機会とするなどの考えはいかがで授業に関する評価について専任講師以外は未実施となっている、非常勤講師に関しても授業の内容についてのコメントをもらえると次の講義への組み立てに役立てられるのではないかと

C委員

お名前 基準4 学修成果 (P25~P28)	
A委員	
B委員	
C委員	
お名前 基準5 学生支援 (P29~P37)	
A委員	
B委員	学生支援の今後の改善方策にあります「中学や高等学校教員を持つ専任教員による講義へ変更」は非常に良い方策だと思います。養成校に入学する学生の資質の問題を聞くことがありますが、特に高校教員との連携強化を図ることにより、目標を持った学生が集まることに繋がり、中途退学や休学者を低減することにも繋がると思われます。
C委員	新型コロナウイルス感染症に伴う休校やその対応について、今後も同様な事態に対応できるよう用に設備や体制を整えていってほしい。今後介護福祉学科について外国人留学生も入学してくるので、PTOTOST学科との交流が持てるといい
お名前 基準6 教育環境 (P38~P42)	
A委員	6-24 災害時のBCPを考え、マニュアルを整備したほうが望ましいと考えます。
B委員	Office365を導入し、コロナ禍における対策や収束後のICTの活用を見据えている点は非常に教育環境が整備されていると思われます。
C委員	防災については、各地域での対応が違うこともあるので地域との連携した対応も必要になってくるのでその点も含めた訓練などができるとよりいいのでは
お名前 基準7 学生募集と受入れ (P43~P47)	
A委員	7-25 学生募集活動のつきまして、広報活動などあらゆる工夫を凝らした取り組みをされており感心いたしております。しかしながら、OT、ST、介護福祉士の志願者が減少傾向にあることにつきましては気になるところで沖縄県内では最も伝統ある養成校であり、卒業生も県内病院・施設で活躍する人材を養成している実績を、ホームページやSNS、広報誌等々をフル活用して、アピールしていただければと考えます。
B委員	定員不足している学科の募集についてはいろいろ取り組みを行っており、学院の特色がさらに認知されることで増えていくと思うので頑張ってください
C委員	
お名前 基準8 財務 (P48~P53)	
A委員	
B委員	
C委員	8-30-1については自己評価がなかった。
お名前 基準9 法令等の遵守 (P54~P58)	
A委員	
B委員	県外の養成校では、臨床心理士を職員として雇用して相談窓口を設置したり、学生からの臨床実習後のアンケート調査を取り纏めて、臨床実習指導者会議にて報告し、注意喚起を行うなどの取り組みが行われている。貴学院におけるハラスメント等の防止のための対策について、取り組みなどがあれば確認させて下さい。
C委員	9-35-1については自己評価の記入がなかった。
お名前 基準10 社会貢献・地域貢献 (P59~P61)	
A委員	
B委員	
C委員	学生のボランティアの機会は広く提供できればいいと思うが昨今の感染対策や個人情報やコンプライアンスなどで少し参加しにくいような印象もあるので可能な範囲で進めていただきたい